

FAQ 共通事項 ※自動車系技官については P5～、船舶系技官については P7～

Q 1 九州運輸局に採用されるにはどうすればよいのですか？

A 1 人事院が実施する国家公務員一般職採用試験（大卒程度試験又は高卒者試験）に合格が必要です。その後、九州運輸局の採用面接を行います。

問い合わせ先

行政職の採用に関すること

総務部人事課 電話：092-472-2313

自動車系技術職の採用に関すること

自動車技術安全部技術課 電話：092-472-2539

船舶系技術職の採用に関すること

海上安全環境部船舶安全環境課 電話：092-472-3174

Q 2 勤務地はどこにありますか？

A 2 九州7県及び山口県の一部が管轄となっており、本局（福岡市）以外にも各地に21の勤務官署があります。詳細につきましては「管轄区域」を参考にしてください。また、船舶系技官については、Q19を参考にしてください。

Q 3 採用後はどんな仕事をするのですか？

A 3 国家公務員一般職（大卒程度又は高卒者）試験区分採用者の運輸局での仕事内容は主として、

行政（事務系）の方は、政策の企画・立案、調査、運送事業者の

指導・許認可等の一般事務

機械、電気・電子・情報（技術系）の方は、自動車・船舶の検査等の

技術的業務となります。

詳細については、以下のURLから閲覧可能です。

<https://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/content/000160369.pdf>

Q 4 人事異動はどのようになっていますか？

A 4 概ね2～3年の周期で人事異動があります。異動には転居を伴う場合と伴わない場合があります。転居を伴う異動の場合は、宿舍の貸与を希望することが可能です。また、年に一度、勤務地や職務を含めた本人の希望を書面で提出できる機会があります。

Q 5 採用後に研修はありますか？

A 5 採用された際は「新規採用職員研修」を行い、国家公務員としての心構えや基礎知識、社会人としての実践マナーを身につけていただきます。当研修修了後、配属先に着任することになります。その後、係員・係長・管理職などの階層別の研修、観光業務や海事業務などの業務種別ごとに行う専門研修、行政相談対応力等の向上のための総合研修など、多岐にわたる研修があります。研修施設としては、千葉県柏市の「柏研修センター」などがあります。

Q 6 女性が働きやすい職場は整っていますか？

A 6 令和2年4月現在で65名の女性職員が勤務しております。割合としては全体の約10%ですが、30歳以下の行政職の職員で見ると約30%が女性職員となっており、女性職員の採用も積極的に行っていることから年々その割合は増加しています。また、女性職員が結婚や出産を機に退職するケースは稀で、近年育児休業取得率は100%となっており、育児休業から復帰した職員も数多く勤務しています。なお、育児休業は男性職員も取得でき、女性に限らず全職員が働きやすい環境が整っています。

Q7

採用後の処遇（給与・勤務時間・休日）はどうなっていますか。

A7

採用後の処遇（給与・勤務時間・休日）は下記のとおりです。

□初任給

一般職試験（大卒程度試験） 182,200円

一般職試験（高卒者試験） 150,600円

※令和2年4月現在の給与の例

※学歴や民間企業等での経歴により変わる場合があります。

□諸手当

・地域手当 都市部で勤務する職員には地域に応じて手当が加算されます。

・通勤手当 1箇月当たり最高55,000円

・扶養手当 扶養親族のある者に、配偶者等 月額6,500円

子 月額10,000円

・住居手当 賃貸のアパート等に住んでいる者等に月額最高28,000円

・期末・勤勉手当（ボーナス） 俸給等の約4.4月分(令和元年実績)

□勤務時間

8時30分から17時15分 原則として土・日曜日及び祝日の休日は休みです。

※九州運輸局本局は交通混雑緩和のため9時から17時45分の時差通勤あり

□休暇

・年次休暇（有給休暇） 年20日 採用の年は15日（4/1採用の場合）

※残日数は20日を限度として翌年に繰り越し

・夏季休暇 7～9月の間に連続した3日間

・その他 病気、結婚、出産、忌引き、介護等の休暇があります。

Q8

大卒職員と高卒職員では担当する業務は異なるのでしょうか？

A8

学歴や出身の学部によって担当業務が異なることは原則としてありません。ただし、特定の業務では、出身の学部によって必要な職務経験歴が異なることがあります。

Q9

国土交通本省、または他の機関に出向することはできますか？

A9

出向できる可能性はあります。主な出向先は以下のとおりです。

○事務職

(独) 自動車技術総合機構九州検査部 (約 15 名)、国土交通本省、観光庁、

(独) 自動車事故対策機構、軽自動車検査協会 など (いずれも若干名)

○技術職 (船舶系はQ 19を参考)

(独) 自動車技術総合機構九州検査部 (約 80 名)、国土交通本省、交通安全環境研究所、(独) 自動車事故対策機構本部、軽自動車検査協会 など (いずれも若干名)

Q10

4 月期以外の採用はありますか？

A10

令和 2 年度については、秋期での採用も検討しております。新卒の方に限らず既卒の方もお待ちしております。

自動車系技官

Q11

自動車系技官として採用される試験の区分を教えてください。

A11

試験区分は「機械」のほか、「電気・電子・情報」「土木」の区分であっても自動車に興味のある方であれば大歓迎です。

Q12

自動車系技官として採用後はどんな仕事をするのですか？

A12

運輸支局等へ配属された場合は、自動車検査の申請に関する窓口業務並びに、整備事業者及び運送事業者の指導・監督業務に従事します。その後、独立行政法人自動車技術総合機構へ出向となり、九州検査部及び九州検査部管内の事務所に配属された場合は、自動車を検査する業務に従事します。

なお、独立行政法人自動車技術総合機構の行う自動車の検査業務については、以下のURLから閲覧が可能です。

<https://www.naltec.go.jp/business/inspection/index.html>

Q13

いつから自動車検査業務に携わりますか？

A13

自動車の検査業務は、独立行政法人自動車技術総合機構で行っているため、当該法人に配属されることが必要です。

運輸支局に配属された場合でも、独立行政法人自動車技術総合機構との人事交流は常に行っているため、数年後には自動車の検査業務に従事することになります。

Q14

自動車整備士の資格を持っていないのですが、仕事に差し支えありますか？

A14

採用後、自動車技術総合機構の中央実習センター（東京都八王子市）で3級自動車整備士程度の研修を1～2ヶ月程度受講していただき、知識と技術を高めます。また、自動車検査場でのOJT研修も充実していますので、自動車に興味があれば資格がなくても心配ありません。

Q15

女性の技術職はいますか？

A15

若干名ですがいます。今後は積極的に採用していく方針です。

Q16

鉄道関係の仕事に携わりたいのですが？

A16

ポストの数は限られていますが、運輸支局や独立行政法人自動車技術総合機構などで実績を積み重ねた後、配属される可能性はあります。

船舶系技官

Q17 船舶系技官として採用後はどんな仕事をするのですか？

A17 船舶に要求される技術的要件への適合性を検査する船舶検査業務や、船舶の大きさの指標となるトン数の算出等を行う船舶測度業務、また、日本に入港した外国船に立入り国際的な各種規則への適合性の確認等を行う外国船舶監督業務などに従事します。詳しくは、こちらをご覧ください。

<https://www.mlit.go.jp/common/001283631.pdf>

Q18 船舶系技官として採用される試験の区分を教えてください。

A18 試験区分は一般職（大卒程度）の「機械」、「電気・電子・情報」などのほか、国土交通省造船職員採用試験（国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）相当）などがあります。詳しくは以下の問合せ先にお尋ねください。

問合せ先：海上安全環境部 船舶安全環境課 092-472-3174

Q19 船舶系技官としての勤務地はどこにありますか？

A19 九州運輸局（本局）及び管内の運輸支局（一部を除く）、海事事務所のほか、国土交通本省や他の地方運輸局及び同局管内の運輸支局等があります。また、関連する他省庁や在外公館、関係機関等への出向もあり、その場合は、出向先の勤務地となります。

Q20

船舶系技官として仕事をするために必要な資格等がありますか？

A20

ありません。船舶系技官の仕事に必要な技術や知識をしっかりと習得できるよう、専門研修やO J Tなどの教育体制が整えられています。